

事業シート(令和5年度決算)

01_秘書交流課.xlsx_1

事業名	20400 秘書事務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性		市長公約	
			款	2	総務費		まちづくり戦略			
			項	1	総務管理費					
			目	4	秘書費	根拠計画				
担当課	市長公室 秘書交流課	内線	2406							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市長、副市長のトップセールスや要望活動により、市の発展や活性化を図る。 ・市長、副市長の市民等との面談、各種団体の行事等への出席により、多くの要望や意見を収集し、市政に反映させる。 ・市長、副市長を含む幹部会等の庁内会議の開催により、円滑な行財政運営を図る。	概要	市長、副市長の適正なスケジュール調整と管理による ・トップセールス、要望活動の実施 ・市民等との面談、各種団体の行事等への出席 ・庁内会議等の開催
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		8,624	7,871	18,696	18,696	14,266
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
一般財源		8,624	7,871	18,696	18,696	14,266
個票枝番	主な事業内容					
	秘書業務及び交際、渉外等に関する事務	8,624	7,871	18,696	18,696	14,266

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額	－
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
17,747	17,747	17,747	△ 949
17,747	17,747	17,747	△ 949
査定額	説明		
17,747			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・市長の交代や外政を担当する副市長の就任に伴う事務引継ぎの実施、各種機関への訪問 ・要望活動の実施 ・市民等との面談、各種団体の行事等への出席 ・庁内会議等の開催などのために適正なスケジュール調整と管理 ・面談人数(年間) 2,007人 ・岐阜県市長会議を当市で開催
評価等	・市長の交代や副市長2名体制への移行を円滑に進めることができた。 ・市民・各種団体からの要望や意見、情報とともに、自治体経営のトップの考えを組織内(職員)に的確に周知し、迅速かつ効果的に市政に反映させる必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・組織改編により市長公室となったことを受け、従来からの円滑な日程調整に加え、政策秘書の視点によるトップマネジメントの補佐を行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・要望活動の実施 ・市民等との面談、各種団体の行事等への出席 ・庁内会議等の開催などのための適正なスケジュール調整と管理 ・面談人数(年間) 1,962人 ・副市長の就・退任に伴う事務引継ぎの実施、各種機関等への訪問
評価等	・市民・各種団体からの要望や意見、情報とともに、自治体経営のトップの考えを組織内(職員)に的確に周知し、迅速かつ効果的に市政に反映させる必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・市長・副市長の円滑な日程調整を行うとともに、政策秘書の視点によるトップマネジメントの補佐を行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・市長、副市長の国内外での渉外活動に必要な旅費の確保など、円滑な秘書業務に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

01_秘書交流課.xlsx_1

20400

事業シート（令和5年度決算）

01_秘書交流課.xlsx_2

事業名	20940 東京事務所運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性		着実な計画の推進	市長公約	
			款	2	総務費		まちづくり戦略				
			項	1	総務管理費	根拠計画					
			目	9	企画費						
担当課	市長公室 東京事務所	内線		2406							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・首都圏における日常的な活動拠点の確保、情報収集・発信機能の強化を図る。 ・国内外での地場製品の販路拡大、飛驒高山ブランドの強化を図る。	概要	・東京事務所を設置し、府省や関係団体等との連絡調整を行うほか、情報収集及びシティセールスその他の市政推進に資する活動を行う。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		8,640	8,259	8,640	8,640	7,158
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(職員派遣事業雑入)		600			866
一般財源		8,640	7,659	8,640	8,640	6,292
個票枝番	主な事業内容					
	運営費	4,440	4,059	4,440	4,440	2,958
	政策顧問の設置	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額	9,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
8,740	8,740	8,740	100
672	672	672	672
8,068	8,068	8,068	△ 572
査定額	説明		
4,540			
4,200			

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・誘客促進関係 イベントでの誘客PR(9件)、メディアでの情報発信(5件)、市内旅行事業者の首都圏活動支援など ・物販支援関係 新規販路開拓(14件)、販路開拓支援など ・交流促進関係 千代田区相互連携協定に基づく事業調整(34件)、移住相談、在京の飛驒地域出身者との人脈拡大など ・市担当課業務支援 各課の首都圏業務の支援(121件)、戦略派遣職員の業務支援など ・政策顧問 ブランド戦略・行政改革・地方創生等の重要政策推進に関する市長・関係部署等への指導や助言、人脈の仲介や情報収集など(延べ115回)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定
評価等	・職員が東京に駐在することの時間的・場所的な優位性を活かし、市の様々な担当課と連携し主体的かつ機動的に各種営業を行うことで成果を上げるとともに、市担当課の首都圏業務の連絡調整窓口として幅広く機能した。 ・政策顧問は、高度な知見を活かして各種施策に適切な助言を行い、効果的な施策展開を促すとともに、豊富な人脈を活かして国・関係機関・民間との橋渡し役として各種調整を担っていただいた。 ・新型コロナウイルスの感染状況に配慮しつつ情報収集・発信に努めるとともに、社会経済が本来の軌道に戻りつつあるなか、積極的な活動に取り組むことができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・東京事務所を拠点とし、首都圏側と地域側双方の多様な主体との連携・協働により、首都圏における「飛驒高山ブランド戦略」等の各種取り組みを推進する。 ・経営資源(人、情報)を効果的に各種施策に活用する。 ・社会的経済活動の本格的な回復を見据え、首都圏での活動を積極的に行う。	

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・誘客促進関係 イベントでの誘客PR(4件)、メディアでの情報発信(11件)、市内旅行事業者の首都圏活動支援など ・物販支援関係 新規販路開拓(14件)、販路開拓支援など ・交流促進関係 千代田区相互連携協定に基づく事業調整(6件)、移住相談、在京の飛驒地域出身者との人脈拡大など ・市担当課業務支援 各課の首都圏業務の支援(163件)、戦略派遣職員の業務支援など ・政策顧問 ブランド戦略・行政改革・地方創生等の重要政策推進に関する市長・関係部署等への指導や助言、人脈の仲介や情報収集など(延べ107回)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定
評価等	・職員が東京に駐在することの時間的・場所的な優位性を活かし、市の様々な担当課と連携し主体的かつ機動的に各種営業を行うことで成果を上げるとともに、市担当課の首都圏業務の連絡調整窓口として幅広く機能した。 ・政策顧問は、高度な知見を活かして各種施策に適切な助言を行い、効果的な施策展開を促すとともに、豊富な人脈を活かして国・関係機関・民間との橋渡し役として各種調整を担っていただいた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・東京事務所を拠点とし、首都圏側と地域側双方の多様な主体との連携・協働により、首都圏における「飛驒高山ブランド戦略」等の各種取り組みを推進する。 ・経営資源(人、情報)を効果的に各種施策に活用する。 ・社会的経済活動の本格的な回復を踏まえ、首都圏での活動を積極的に行う。	

担当課 予算要求 ポイント	・東京事務所の円滑な運営に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

01_秘書交流課.xlsx_2

事業シート(令和5年度決算)

01_秘書交流課.xlsx_3

事業名	21020 都市交流促進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 文化・スポーツ・芸術などやりがいの実現を支援します
					款	2	総務費		まちづくり戦略	(4)	文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出		
					項	1	総務管理費	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画				
					目	10	市民活動推進費						
担当課	市長公室 秘書交流課		内線	2414									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・国内の姉妹友好都市(長野県松本市、神奈川県平塚市、福井県越前市、山形県上山市)との交流を推進する。	概要	・高山市都市提携委員会を中心とした交流事業の実施
----	--	----	--------------------------

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「国内外の都市と様々な分野において交流が進んでいる」と感じている市民の割合	32.4%	38.0%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		1,120	928	1,170	1,170	1,018
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
一般財源		1,120	928	1,170	1,170	1,018
個票枝番	主な事業内容					
	高山市都市提携委員会の運営に対する助成	600	600	900	900	900
	友好都市提携40周年記念事業(平塚市・越前市)	310	282			△ 282

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額	1,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
1,124	1,140	1,140	△ 30
1,124	1,140	1,140	△ 30
査定額	説明		
900			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・平塚市・越前市との友好都市提携40周年記念式典を飛騨高山まちの博物館にて開催 ・平塚市との相互市民ツアーの開催(13人受入、19人訪問) ・越前市との相互市民ツアーの開催(22人受入、14人訪問)	
評価等	・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、友好都市提携40周年を記念した市民ツアー等を開催し、友好交流を深めることができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・市民レベルでのまちづくりや経済、文化面等での交流を促進する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・上山市との友好都市提携35周年を記念した市民ツアーの実施(37人参加) ・越前市への市民ツアーの実施(22人参加) ・平塚市とのこどもスノー交流の実施(平塚市16人、高山市9人参加)	
評価等	・友好都市提携35周年を記念した市民ツアーの開催などにより、友好交流を深めることができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・市民レベルでのまちづくりや経済、文化面等での交流を促進する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・姉妹友好都市交流に必要な経費を計上
---------------------	--------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

01_秘書交流課.xlsx_3

21020

事業シート(令和5年度決算)

事業名	21510 国際交流事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 住む人と来る人の調和を推進します 文化・スポーツ・芸術などやりがいの実現を支援します
					款	2	総務費		まちづくり戦略	(4)	文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出		
					項	1	総務管理費	根拠計画	過疎地域持続的発展計画				
					担当課	市長公室 秘書交流課	内線				2414		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・異文化への理解を深め、広い視野を持った人材を育成するため、都市間交流の推進や異文化に接する機会の提供などにより、海外との交流を推進する。	概要	・海外の姉妹友好都市等との教育・文化・芸術・産業等の様々な分野における交流や新たな都市間交流の推進 ・市民海外派遣や英語スピーチコンテスト、外国語講座の開催など ・市民と在住・来訪外国人との交流促進 ・国際交流員の招致や海外姉妹友好都市自治体職員研修員の受入、民間交流団体への支援などによる異文化に接する機会の提供
----	---	----	--

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		7,824	5,419	13,233	13,233	8,699	3,280
特定財源	国費 (国際交流事業費、外国人受入環境整備交付金)	1,800	1,647	2,400	2,400	2,491	844
	県費 (多文化共生推進事業補助金 1/2)						0
	その他 (夢・まちづくり基金収入、外国青年招致事業雑入 等)	448	1,316	470	2,470	2,333	1,017
一般財源		5,576	2,456	10,363	8,363	3,875	1,419
個票枝番	主な事業内容						
	市民海外派遣						
	外国青年国際交流員招致	1,374	784	1,753	1,753	932	148
	民間交流団体への支援	1,230	775	1,830	1,830	1,350	575
	外国人医療受入体制整備事業	3,600	3,295	4,980	4,980	4,983	1,688
	外国人相談窓口の設置						
	海外姉妹友好都市等自治体職員研修受入						
◎ 1	高山・ウルバンバ友好都市提携10周年記念事業			200	200	196	

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・中国・麗江市友好都市提携20周年記念事業 オンライン交流会の実施 ・ルーマニア・シビウ市友好都市提携10周年記念事業 オンライン記念式典と交流会の実施 ・外国人医療受入体制(ワンストップ医療相談窓口)の整備 ・市民外国語講座(6言語12講座、受講者数216人) ・多文化共生Facebookページ「HIDA TAKAYAMA TOGETHER」の運用 ・外国青年国際交流員(1名)の招致 ・アメリカ・デンバー市長来訪 ・韓国・安東市と友好交流促進意向書オンライン署名式の実施	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定
評価等	・コロナ禍においても、友好都市提携周年事業をオンラインで開催し、友好交流を深めることができた。 ・外国人の医療の受け入れ体制を新たに構築することができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・海外姉妹・友好都市等との交流を推進するために、市民海外派遣や自治体職員協力事業の再開を進める。 ・国籍や民族などの異なる人々が互いの文化を認め合い、理解を深めながら共存できるよう多文化共生の意識の醸成を図る。	

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・ペルー・ウルバンバ郡友好都市提携10周年記念式典の開催(ウルバンバ郡訪問) ・アメリカ・デンバー市への市長表敬訪問 ・ベトナム・フエ市、ラオス・ルアンパバーン市、韓国・安東市との伝統工芸や都市交通、文化財などの分野に関する交流 ・外国人医療受入体制(ワンストップ医療相談窓口)の運用 ・市民外国語講座の実施(5言語13講座、受講者数270人) ・多文化共生Facebookページ「HIDA TAKAYAMA TOGETHER」の運用 ・外国青年国際交流員(1名)の招致	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定
評価等	・姉妹友好都市等との都市間交流により、友好交流を深めることができた。 ・民間交流団体への支援により、市民が異文化に接する機会を提供することができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・姉妹友好都市等との友好交流を推進する。 ・国際理解の高揚を図り、幅広い知識を持った国際人及び次代を担う人材を育成する。 ・国籍や民族などの異なる人々が互いの文化を認め合い、理解を深めながら共存できるよう多文化共生の意識醸成を図る。 ・在住外国人が安心して働き、生活できる環境を整備するため、外国人相談窓口を設置・運用する。	

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額	36,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
34,341	34,348	30,139	16,906
			△ 2,400
542	550	550	550
350	425	425	△ 45
33,449	33,373	29,164	18,801
査定額	説明		
13,800			
1,745			
2,430			
	事業変更(海外戦略推進事業)		
700			
6,794	麗江1人、ウルバンバ1人		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・海外友好都市等との交流・協力を推進するために必要な経費を計上 ・友好都市職員の研修受入に必要な経費を計上 ・在住外国人が市内において安心して生活ができるよう、外国人相談窓口の運営に必要な経費を計上 ・市民海外派遣や市民ツアーの実施に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・海外友好都市自治体職員の研修生受入について積算内容を精査

事業シート(令和5年度決算)

01_秘書交流課.xlsx_5

事業名	21510国際交流事業費	区分	☒ R5新規	☐ R6新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	市長公室 秘書交流課
			☐ R5拡充	☐ R6拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	1高山・ウルバンバ友好都市提携10周年記念事業		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2414
			☐			目	16	海外戦略推進費	作成年月	R6.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	友好都市提携を締結して10周年を迎えるウルバンバ郡との間で式典等を開催し、交流の継続を確認をする。	概要	友好都市提携10周年を迎えるウルバンバ郡とのさらなる友好を深めるため、現地へ渡航し、周年記念事業を実施する
----	---	----	---

[参考] R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R5当初予算(Action) R5.3時点 (千円)

予算額	当初	200
主な経費	現地での記念式典の開催	
	写真展の開催	
	※上記のほか、市長等の旅費を予算計上	
対前年度増減額(当初予算)		200

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	200
	繰越	
	補正等	
	最終	200
決算額		196
対前年度増減額(決算)		196

R6当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R4完了 ☐ R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・節目を迎えるウルバンバ郡との友好都市提携10周年に際し、両市が引き続き、今後も交流を継続することを確認するため、現地渡航し式典を実施する。 ・また、記念写真展を開催する。	
[スケジュール]	
・令和5年8月(予定) 現地に渡航し式典を開催 ・令和5年10月(予定) 写真展の開催	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・ウルバンバ郡友好都市提携10周年記念式典を開催(ウルバンバ郡訪問)し、今後の友好交流の継続について確認した。(8月12日) ・ウルバンバ郡とのこれまでの交流について、市役所等で写真パネル展を実施した。(11月13日～12月25日)		
[評価等]		
・記念事業を通して、今後も様々な交流を継続していくことや、ウルバンバ郡職員の研修受入を再開することを確認し、友好を深めることができた。		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	